



高梁市発足10周年

高梁市成羽美術館新築開館20周年記念展

世界に誇る成羽の化石

会期 ▶ 9月28日(日)まで 休館日：毎週月曜日
ただし、9月15日(月)は開館、9月16日(火)は休館します。
開館時間：午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

場所 ▶ 成羽美術館 TEL 0866-42-4455
<http://www.kibi.ne.jp/~n-museum/>

入館料 ▶ 一般 700 円、高校・大学生・65 歳以上 500 円
小・中学生 200 円 (※市内の小・中学生は入館無料)

2 億年以上前 (中生代・三畳紀) にはユーラシア大陸の沿岸にあった成羽。
そこは今とは違って、巨大なトクサやシダ・イチョウなどが生い茂る熱帯の森だった。

その森の様子を知る手がかりとなるのが当時の植物の痕跡である化石。
1926 年夏、一人の少年が夏休みの課題で採集したシダ植物の化石が契機となり、
以降成羽は植物化石の産地として注目を集める。

地元では「成羽地学同好会」が結成され化石採集、調査活動を活発に展開。
結果 1930 年代から現在までに新種 38 種を含む 114 種の植物化石が確認されており、
この地は、有数の化石産地 NARIWA Flora (成羽植物群) として知られるようになった。

今展では、成羽で発見され新種として論文に記載された「タイプ標本」
(その種を決定するもととなった最初の標本) を一堂に展示。
かつてここにあった成羽の豊かな森をよみがえらせる。

【関連イベント】

成羽美術館に恐竜学者がやってくる！

B S プレミアムなどでもおなじみの恐竜学者：小林快次先生を迎えて記念講演会を開催します。
恐竜は成羽の植物化石と同じころ、約 2 億年前に地球上に現れました。今後研究が進む中で太古の成羽地域にも恐竜たちが生息していたことが判明するかもしれません。発掘調査で世界中を巡る小林先生が「成羽の森」と恐竜出現について、楽しく話してくれます。

記念講演会 「恐竜の誕生：三畳紀後期の地球の裏側」

- 日 時 9月13日(土) 午後1時30分～午後3時
- 会 場 成羽美術館内カフェスペース ※当日美術館内のカフェはお休みします。
- 講 師 小林快次氏 (北海道大学総合博物館准教授)
- その他 参加には観覧券が必要です。



恐竜学者 小林快次氏

編集と発行(毎月15日発行)高梁市秘書政策課

〒716-8501 岡山県高梁市松原通2043 電話0866(21)0210 ホームページアドレス <http://www.city.takahashi.okayama.jp/>



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

本紙は環境保全のため再生紙を使用しています。

